



Dell Latitude E7240

オーナーズマニュアル



メモ、注意、警告

 **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピューター内部の作業	5
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	5
コンピュータの電源を切る.....	6
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	6
章 2: コンピュータのドッキング	8
章 3: コンポーネントの取り外しと取り付け	9
奨励するツール.....	10
システムの概要.....	10
SD カードの取り外し.....	11
SD カードの取り付け.....	11
バッテリーの取り外し.....	11
バッテリーの取り付け.....	12
ベースカバーの取り外し.....	13
ベースカバーの取り付け.....	14
mSATA SSD カードの取り外し.....	14
mSATA SSD カードの取り付け.....	14
キーボードトリムの取り外し.....	14
キーボードトリムの取り付け.....	15
キーボードの取り外し.....	15
キーボードの取り付け.....	16
パームレストの取り外し.....	16
パームレストの取り付け.....	17
Wi-Fi スイッチボードの取り外し.....	17
Wi-Fi スイッチボードの取り付け.....	18
メモリモジュールの取り外し.....	18
メモリモジュールの取り付け.....	18
WLAN カードの取り外し.....	18
WLAN カードの取り付け.....	19
WWAN カードの取り外し.....	19
WWAN カードの取り付け.....	19
ディスプレイベゼルの取り外し.....	20
ディスプレイベゼルの取り付け.....	20
ディスプレイパネルの取り外し.....	20
ディスプレイパネルの取り付け.....	21
コイン型電池の取り外し.....	21
コイン型電池の取り付け.....	22
スピーカーの取り外し.....	22
スピーカーの取り付け.....	22
ディスプレイヒンジカバーの取り外し.....	23
ディスプレイヒンジカバーの取り付け.....	23
ヒートシンクの取り外し.....	23
ヒートシンクの取り付け.....	24

ディスプレイアセンブリの取り外し.....	24
ディスプレイアセンブリの取り付け.....	25
システムファンの取り外し.....	26
システムファンの取り付け.....	26
システム基板の取り外し.....	26
システム基板の取り付け.....	27
電源コネクタの取り外し.....	28
電源コネクタの取り付け.....	28
章 4: ドッキングポートの情報.....	29
章 5: セットアップユーティリティ.....	30
起動順序.....	30
ナビゲーションキー.....	30
セットアップユーティリティのオプション.....	31
BIOS のアップデート.....	38
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	39
システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て.....	39
既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更.....	39
章 6: 診断.....	41
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	41
デバイスステータスライト.....	41
バッテリーステータスライト.....	42
章 7: 仕様.....	43
章 8: デルへのお問い合わせ.....	47

コンピューター内部の作業

トピック：

- コンピュータ内部の作業を始める前に
- コンピューターの電源を切る
- コンピュータ内部の作業を終えた後に

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。

- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。

① メモ: すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。

① メモ: コンピューター内部の作業を始める前に、お使いのコンピューターに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

△ 注意: 修理のほとんどは、認定を受けたサービス技術者のみが行います。お客様は、製品マニュアルで認められた、あるいはオンラインや電話によるサービス、サポートチームから指示を受けた内容のトラブルシューティング、および簡単な修理作業のみを行ってください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に同梱の安全に関する指示をよく読み、従って作業してください。

△ 注意: 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

△ 注意: 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサチップのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく縁を持つようにしてください。

△ 注意: ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブの部分を持ち、ケーブルそのものを引っ張らないでください。ケーブルによっては、ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを取り外すときは、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを外すときは、コネクタピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。

① メモ: お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。

△ 注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピュータを裏返します。

メモ: システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

7. メインバッテリーを取り外します。
8. コンピュータを表向きにします。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

注意: 感電防止のため、ディスプレイを開く前に、必ずコンセントからコンピュータの電源プラグを抜いてください。

注意: コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を逃がしてください。

11. 適切なスロットから、取り付けられている ExpressCard または Smart Card を取り外します。

コンピューターの電源を切る


注意: データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。

- In Windows 8:

- タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:

- a. 画面の右端からスワイプし、チャームメニューを開き、[Settings] (設定) を選択します。


- b.  を選択し、続いて [シャットダウン] を選択します。

- マウスの用法:

- a. 画面の右上隅をポイントし、[Settings] (設定) をクリックします。


- b. ライセンス情報を展開または折りたたむには、、[Shut down] (シャットダウン) を選択します。

- Windows 7 の場合 :

- a. [スタート] をクリックします。 をクリックします。

- b. [Shut Down] (シャットダウン) をクリックします。

または

- a. [スタート] をクリックします。 をクリックします。

- b. 次に、以下に示す [Start] (スタート) メニューの右下の矢印をクリックし、[Shut Down] (シャットダウン) をクリッ



クします。


2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押し続けて電源を切ります。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

交換 (取り付け) 作業が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

注意: コンピューターへの損傷を防ぐため、本製品専用のバッテリーのみを使用してください。他のデル製コンピューター用のバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケータ、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。

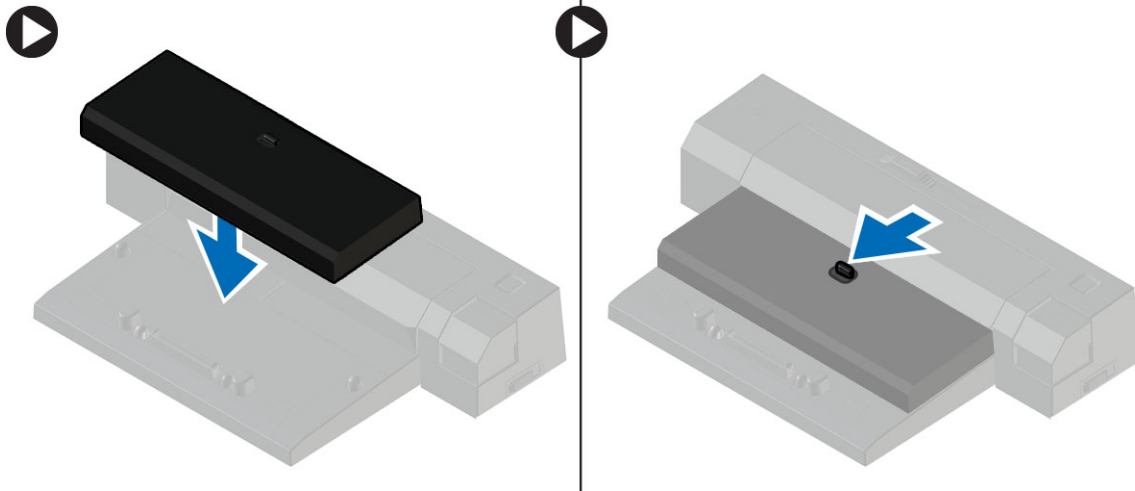
 **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

3. バッテリーを取り付けます。
4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータのドッキング

次の手順に従ってコンピュータをドッキングさせます。

- a. ドッキングスペーサがドッキングステーションの所定の位置にカチッと収まるようにセットします。
- b. コンピュータをドッキングスペーサにセットしてドッキングさせます。



メモ: ドッキングスペーサは Latitude E7240 / Latitude E7440 コンピュータのドッキングにのみ使用可能です。このドッキングステーションを使用してその他の Dell コンピュータのドッキングを行うことはできません。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

トピック：

- 奨励するツール
- システムの概要
- SD カードの取り外し
- SD カードの取り付け
- バッテリーの取り外し
- バッテリーの取り付け
- ベースカバーの取り外し
- ベースカバーの取り付け
- mSATA SSD カードの取り外し
- mSATA SSD カードの取り付け
- キーボードトリムの取り外し
- キーボードトリムの取り付け
- キーボードの取り外し
- キーボードの取り付け
- パームレストの取り外し
- パームレストの取り付け
- Wi-Fi スイッチボードの取り外し
- Wi-Fi スイッチボードの取り付け
- メモリモジュールの取り外し
- メモリモジュールの取り付け
- WLAN カードの取り外し
- WLAN カードの取り付け
- WWAN カードの取り外し
- WWAN カードの取り付け
- ディスプレイベゼルの取り外し
- ディスプレイベゼルの取り付け
- ディスプレイパネルの取り外し
- ディスプレイパネルの取り付け
- コイン型電池の取り外し
- コイン型電池の取り付け
- スピーカーの取り外し
- スピーカーの取り付け
- ディスプレイヒンジカバーの取り外し
- ディスプレイヒンジカバーの取り付け
- ヒートシンクの取り外し
- ヒートシンクの取り付け
- ディスプレイアセンブリの取り外し
- ディスプレイアセンブリの取り付け
- システムファンの取り外し
- システムファンの取り付け
- システム基板の取り外し
- システム基板の取り付け
- 電源コネクタの取り外し
- 電源コネクタの取り付け

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

システムの概要

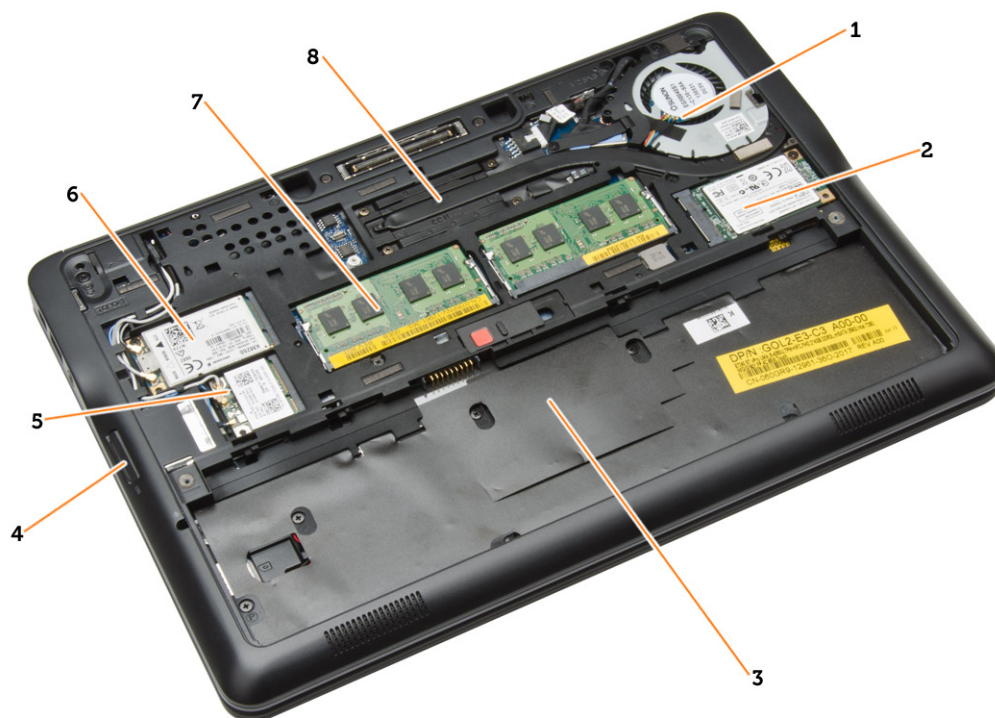
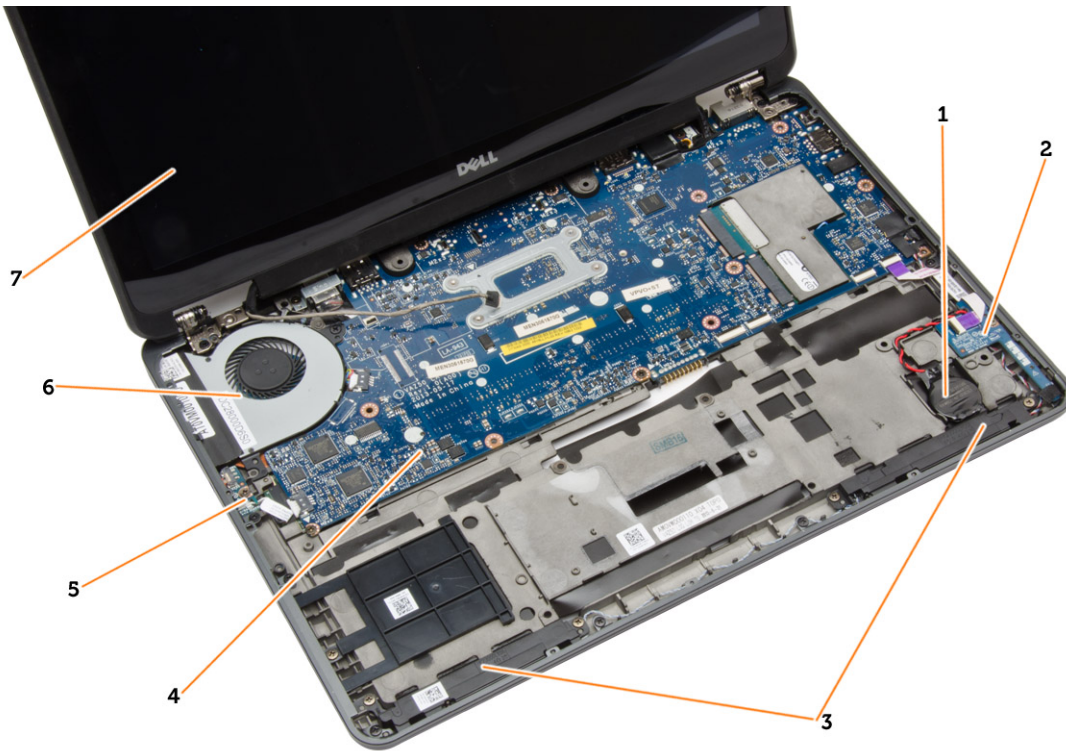


図 1. 内部図 — 背面

1. システムファン
2. mSATA カード
3. バッテリーベイ
4. SD カード
5. WLAN カード
6. WWAN カード
7. メモリモジュール
8. ヒートシンク

図 2. 内部図 — 前面



- | | |
|------------------|---------------|
| 1. コイン型電池 | 2. SIM カードボード |
| 3. スピーカ | 4. システム基板 |
| 5. wi-fi スイッチボード | 6. システムファン |
| 7. ディスプレイアセンブリ | |

SD カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. SD カードを押し込んでアンロックします。



3. SD カードをコンピューターから引き出します。

SD カードの取り付け

1. 所定の位置にカチッと収まるまで、SD カードをスロットに差し込みます。
2. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. リリースラッチをスライドさせて、バッテリーのロックを解除します。



3. バッテリーをコンピュータから取り外します。

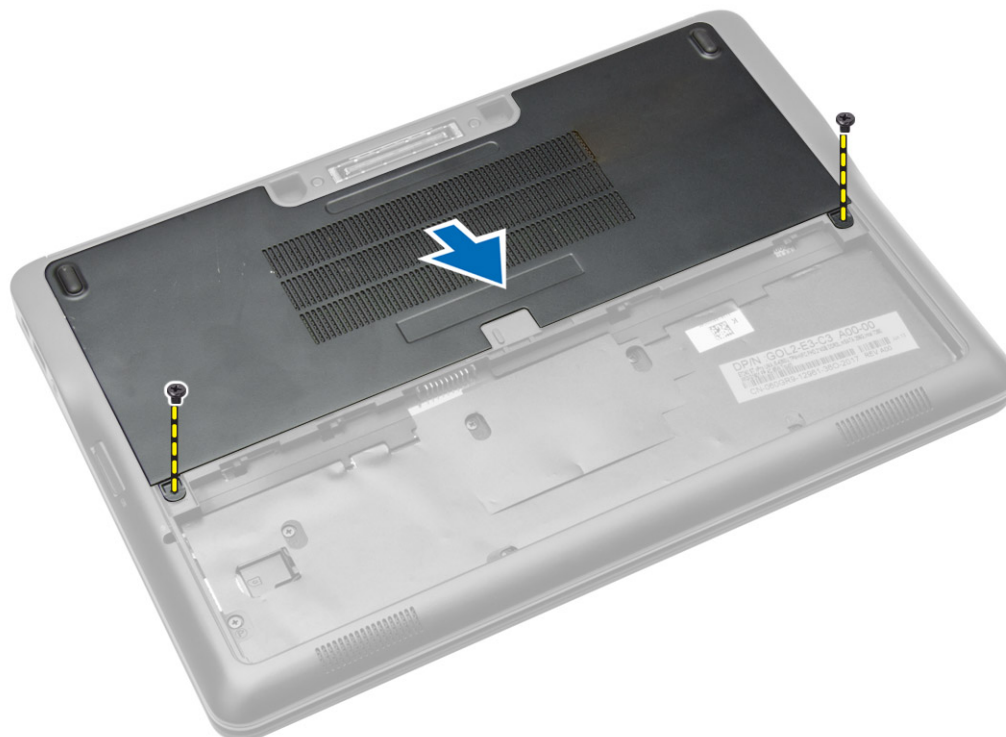


バッテリーの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットにスライドさせます。
2. 「コンピューター内部の作業の後に」の手順に従います。

ベースカバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. ベースカバーをコンピューターに固定しているネジを外します。



4. ベースカバーを持ち上げてコンピューターから取り外します。



ベースカバーの取り付け

1. ベースカバーを設置してコンピュータのネジ穴にぴったり合わせます。
2. ネジを締めてベースカバーをコンピュータに固定します。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

mSATA SSD カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. mSATA SSD カードを取り外すには、次の手順を行います。
 - a. mSATA SSD カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - b. mSATA SSD カードをシステム基板のコネクタから外します。

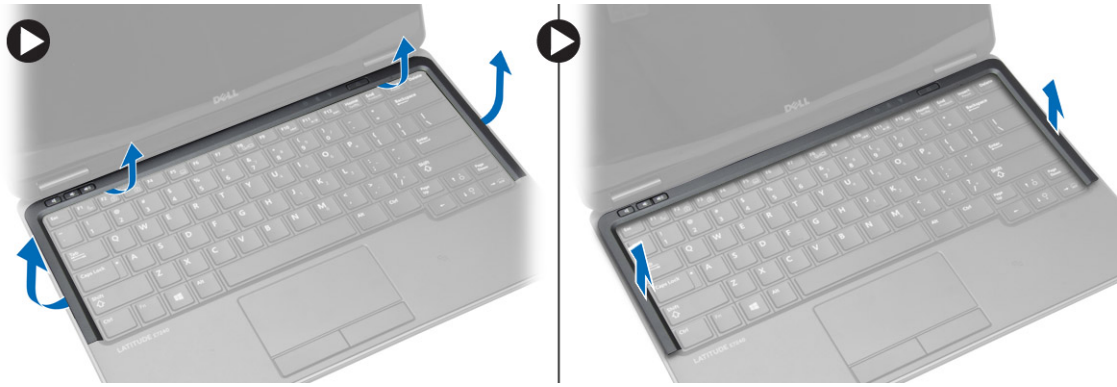


mSATA SSD カードの取り付け

1. mSATA SSD カードをシステム基板のコネクタに接続します。
2. ネジを締めて、mSATA SSD をコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードトリムの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. プラスチックスクライブを使用して、キーボードトリムをこの作用で持ち上げて、コンピュータから解除します。キーボードトリムを持ち上げてコンピュータから取り外します。

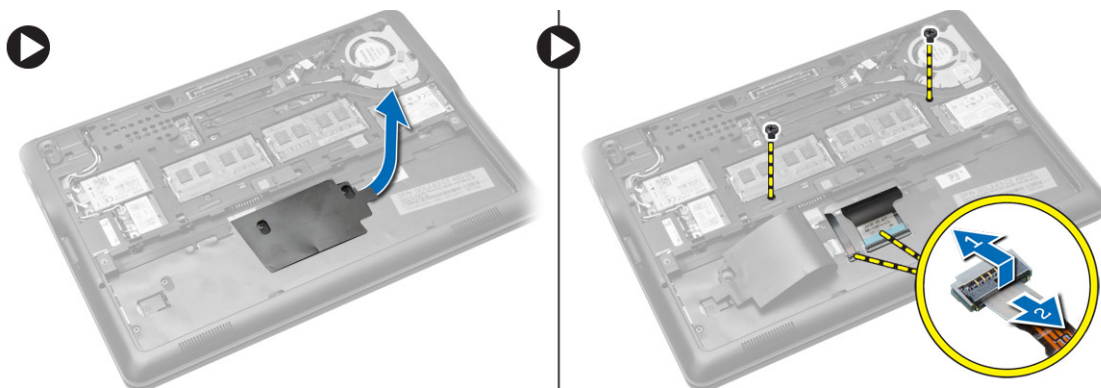


キーボードトリムの取り付け

1. キーボードトリムをスロットに合わせます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、キーボードトリムの両端を押し込みます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
 - c. キーボードトリム
3. バッテリーベイを持ち上げ、キーボードをコンピュータに固定しているネジを外します。
4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. キーボードケーブルをコンピュータに固定しているラッチを持ち上げます [1]。
 - b. キーボードケーブルをコンピュータから外します [2]。



5. コンピューターを裏返し、コンピューターにキーボードを固定しているネジを外します。
6. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. キーボードをコンピュータからスライドさせます [1]。
 - b. キーボードをコンピュータから持ち上げます [2]。



キーボードの取り付け

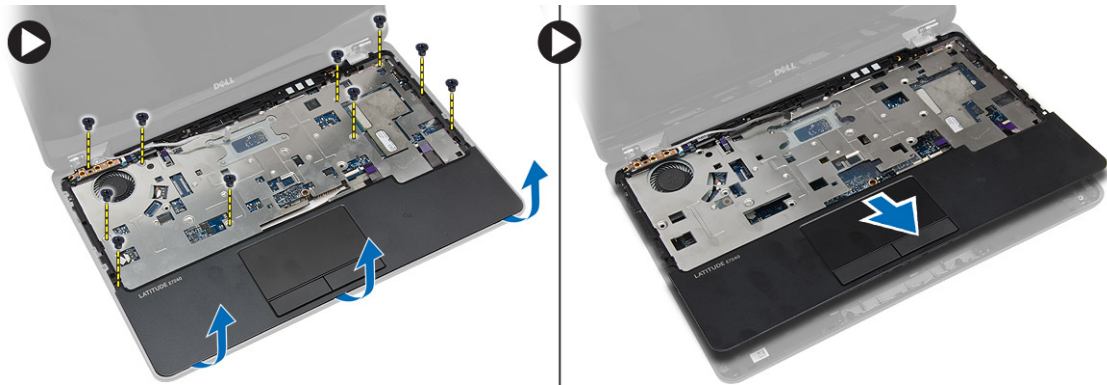
1. キーボードケーブルを接続し、キーボードをコンピュータに固定するネジを締めます。
2. キーボードを所定のコンパートメントに挿入し、カチッとロックされたことを確認します。
3. コンピュータを裏返し、キーボードを配置し、キーボードをコンピュータに固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. キーボードトリム
 - b. ベースカバー
 - c. バッテリー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

パームレストの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
3. パームレストアセンブリを固定しているネジを外し、コンピュータを裏返します。
4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. ケーブルをコンピュータから外します。
 - b. キーボードケーブルをコンピュータに固定しているラッチを持ち上げます [1]。
 - c. キーボードケーブルを外します [2]。
 - d. タッチパネルケーブルをコンピュータから外します [3]。
 - e. ケーブルの配線をスロットから外します [4]。



5. パームレストアセンブリをコンピュータの前面に固定しているネジを外します。端をてこの作用で持ち上げて、パームレストアセンブリをコンピュータから取り外します。

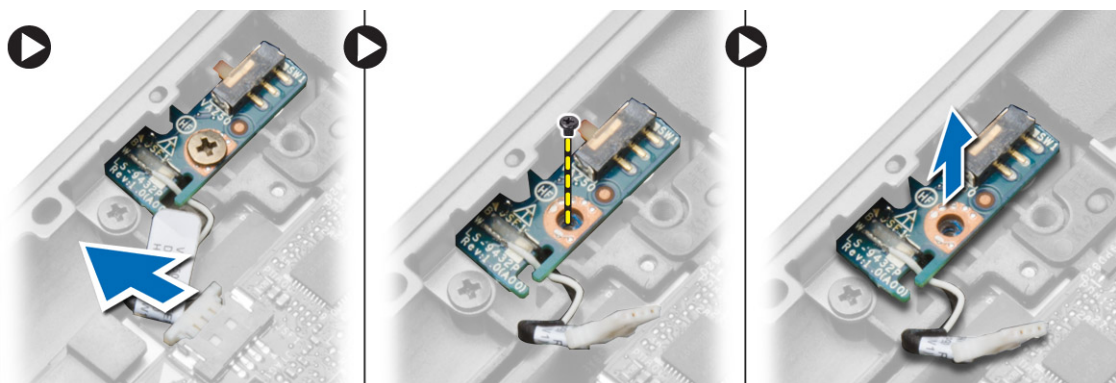


パームレストの取り付け

1. パームレストアセンブリをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. ネジを締めて、パームレストアセンブリをコンピュータの前面に固定します。
3. タッチスクリーンケーブルを配線し、システム基板に接続します。
4. パームレストアセンブリをコンピュータの底部に固定するネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. キーボード
 - b. キーボードトリム
 - c. ベースカバー
 - d. バッテリー
 - e. SD カード
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

Wi-Fi スイッチボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. パームレスト
3. Wi-Fi スイッチボードケーブルをシステム基板から外し、Wi-Fi スイッチボードをコンピュータに固定しているネジを外します。Wi-Fi スイッチボードを取り外します。

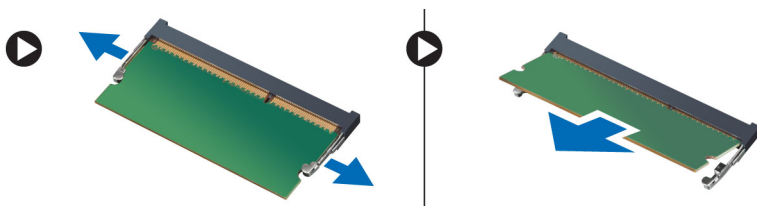


Wi-Fi スイッチボードの取り付け

1. Wi-Fi スイッチボードを所定のスロットに差し込みます。
2. Wi-Fi スイッチボードをシステム基板に接続します。
3. Wi-Fi スイッチボードをシステム基板に固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. キーボード
 - c. キーボードトリム
 - d. ベースカバー
 - e. バッテリー
 - f. SD カード
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリモジュールの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. メモリモジュールが飛び出すまで、メモリモジュールから固定クリップを引き出します。メモリモジュールをシステム基板のコンネクターから取り外します。

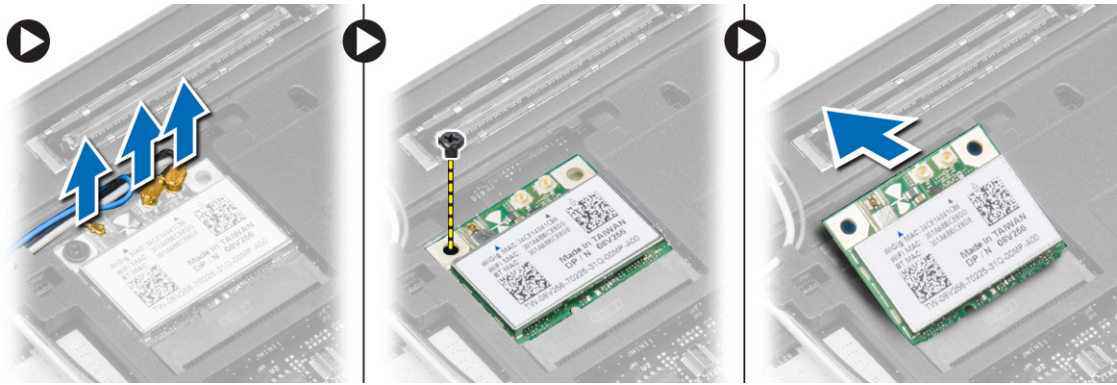


メモリモジュールの取り付け

1. メモリモジュールをソケットに挿入します。
2. 保持クリップを押してメモリーモジュールをシステム基板に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

WLAN カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ベースカバー
3. アンテナケーブルを WLAN カードから外し、WLAN カードをコンピューターに固定しているネジを外します。WLAN カードをコンピューターから取り外します。

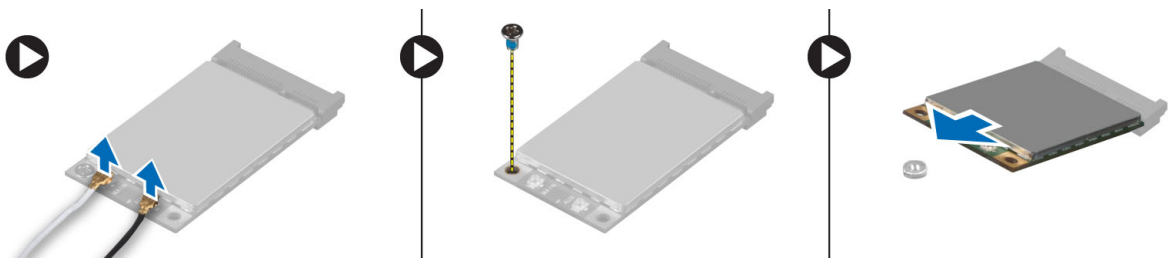


WLAN カードの取り付け

1. WLAN カードをスロットに対して 45 度の角度でコネクタに挿入します。
2. WLAN カードをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. WLAN カードに印を付けられた対応コネクタにアンテナケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

WWAN カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. SD カード
 - c. ベースカバー
3. WWAN カードからアンテナケーブルを外します。
4. WWAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
5. WWAN カードからアンテナケーブルを外します。WWAN カードをコンピュータに固定しているネジを外し、WWAN カードを取り外します。



WWAN カードの取り付け

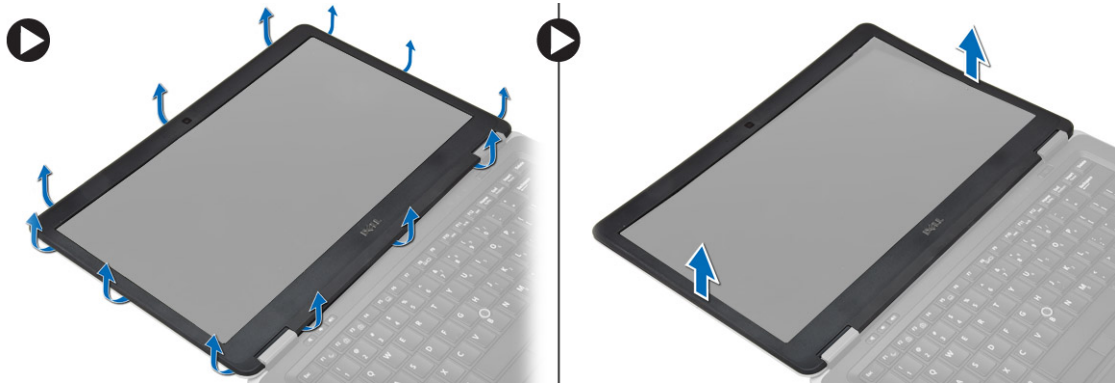
1. WWAN カードをシステム基板の所定のスロットに入れます。
2. WWAN カードを押し込み、WWAN カードをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. WWAN カードに印を付けられた対応コネクタにアンテナケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ベースカバー
 - b. SD カード

c. バッテリー

5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイベゼルの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. ディスプレイベゼルの両端をてこの作用で持ち上げます。ディスプレイベゼルをディスプレイアセンブリから取り外します。

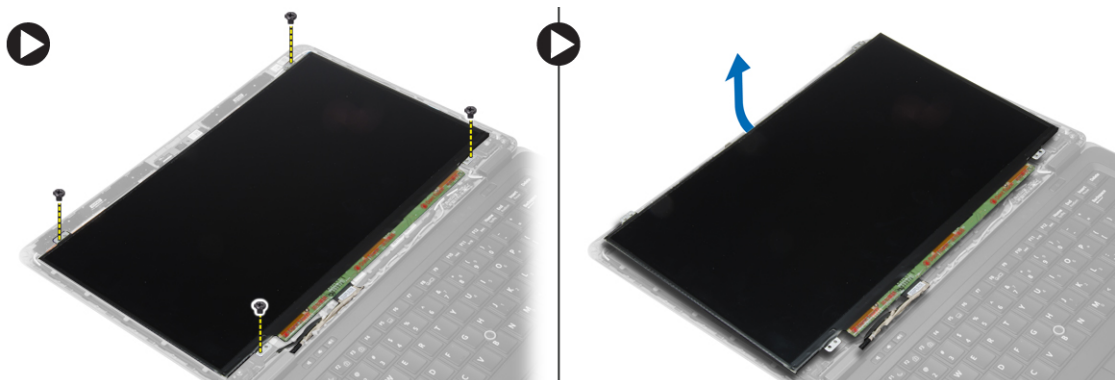


ディスプレイベゼルの取り付け

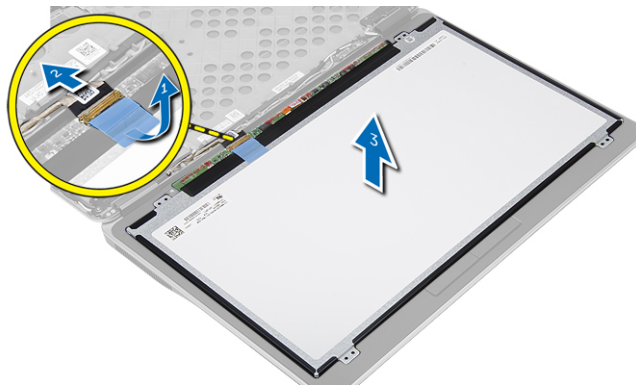
1. ディスプレイベゼルを所定の位置に合わせ所定の位置にはめ込みます。
2. ディスプレイアセンブリのヒンジカバーを所定の位置に合わせてはめ込みます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイパネルの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. ディスプレイベゼル
3. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリに固定しているネジを外します。ディスプレイパネルを上を持ち上げます。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. LVDS ケーブルコネクタテープをはがします [1]。
 - b. LVDS ケーブルをディスプレイパネルから外します [2]。
 - c. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリから取り外します [3]。

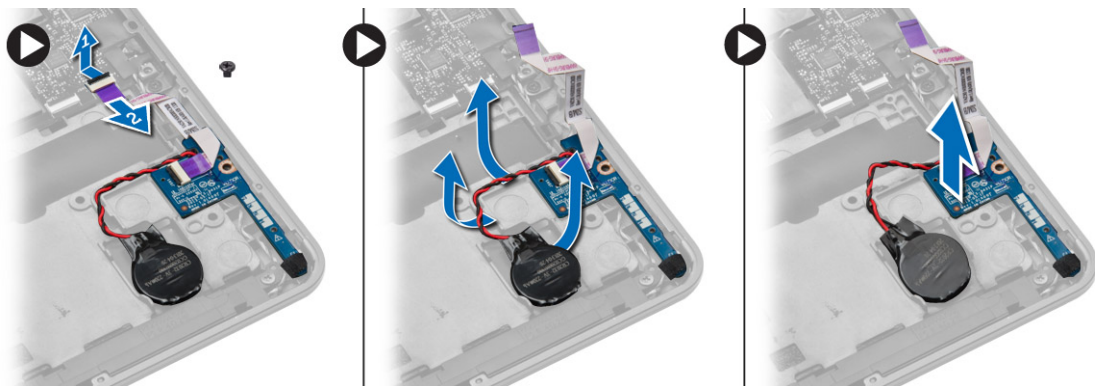


ディスプレイパネルの取り付け

1. ディスプレイケーブル (LVDS ケーブル) をディスプレイパネル上のコネクタに接続します。
2. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリの元の位置にセットします。
3. ネジを締めてディスプレイパネルをディスプレイアセンブリに固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイベゼル
 - b. バッテリー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. パームレスト
3. コイン型電池をシステム基板に固定しているネジを外します。
4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. I/O ケーブルをコンピューターに固定しているラッチを持ち上げます [1]。
 - b. I/O ケーブルをシステム基板から外します [2]。
5. コイン型電池ケーブルをシステム基板から外します。スロットからケーブルの配線を外し、コイン型電池をコンピューターから取り外します。

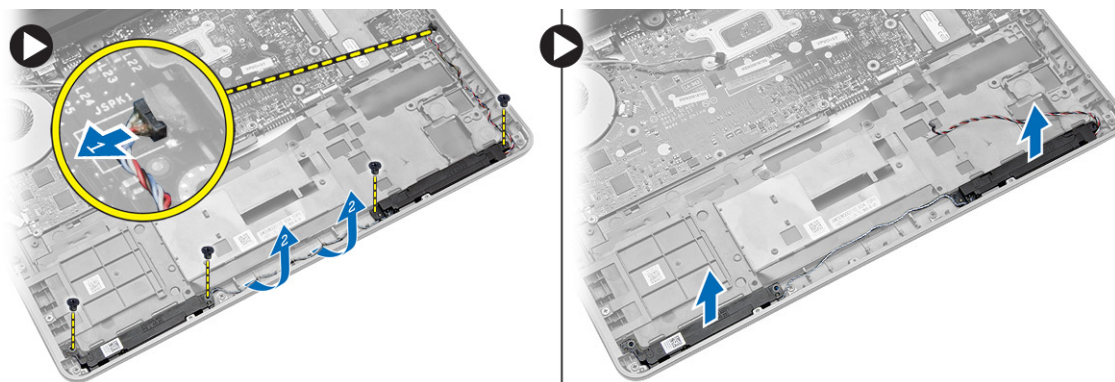


コイン型電池の取り付け

1. コイン型電池をスロットに取り付けます。
2. ケーブルを配線し、コイン型電池ケーブルをシステム基板に接続します。
3. I/O ケーブルをシステム基板に接続します。
4. コイン型電池をシステム基板に固定するネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. キーボード
 - c. キーボードトリム
 - d. ベースカバー
 - e. バッテリー
 - f. SD カード
6. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スピーカーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. パームレスト
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. スピーカーケーブルを外します [1]。
 - b. スピーカーをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - c. スピーカーケーブルの配線をシステム基板から外します [2]。
 - d. スピーカーをコンピュータから取り外します。



スピーカーの取り付け

1. スピーカーを元の位置に合わせてネジを締め、スピーカーをコンピュータに固定します。
2. スピーカーケーブルをコンピュータ上で配線し、システム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. パームレスト
 - b. キーボード
 - c. キーボードトリム

- d. ベースカバー
- e. バッテリー
- f. SD カード

4. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイヒンジカバーの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. ディスプレイヒンジカバーをコンピューターに固定しているネジを外します。ディスプレイヒンジカバーを持ち上げます。

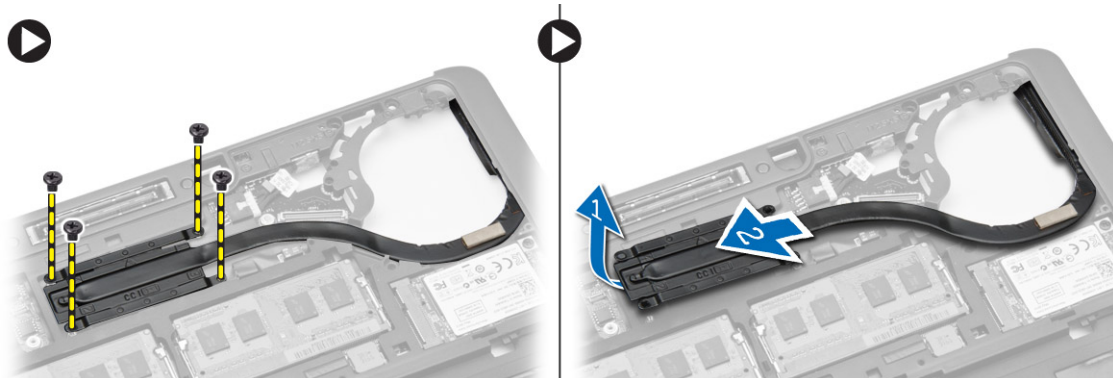


ディスプレイヒンジカバーの取り付け

1. ディスプレイヒンジカバーを設置して、ネジを締めてディスプレイヒンジカバーをコンピューターに固定します。
2. バッテリーを取り付けます。
3. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンクの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. mSATA
 - e. キーボードトリム
 - f. キーボード
 - g. パームレスト
 - h. ディスプレイヒンジカバー
 - i. ディスプレイアセンブリ
3. ヒートシンクをコンピューターに固定しているネジを外します。
4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. ヒートシンクをコンピューターから持ち上げます [1]。
 - b. ヒートシンクをコンピューターから取り外します [2]。

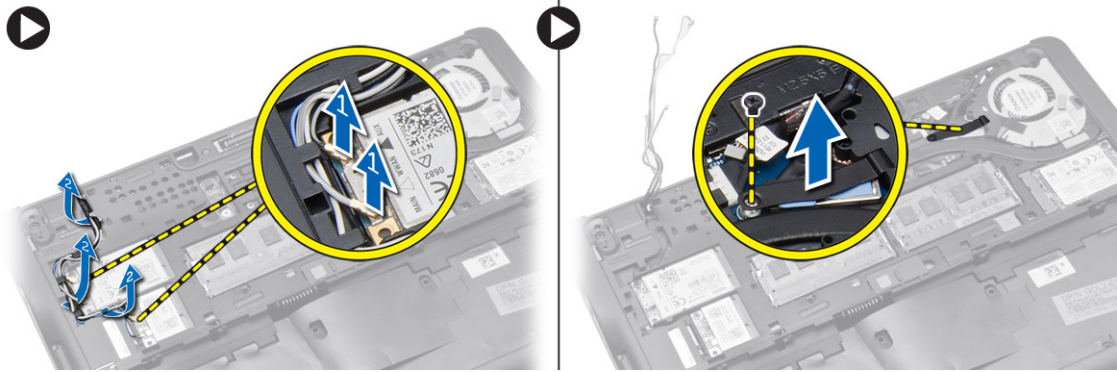


ヒートシンクの取り付け

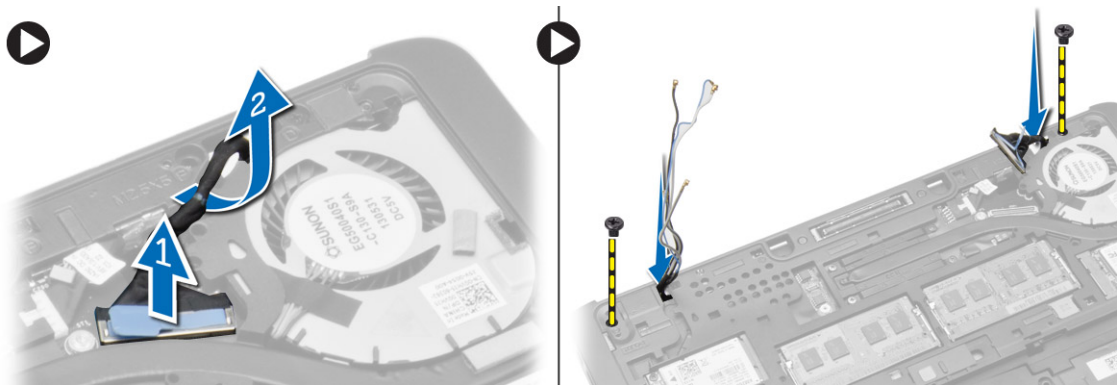
1. ヒートシンクをコンピュータの元の位置に設置します。
2. ネジを締めてヒートシンクをコンピュータに固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイアセンブリ
 - b. ディスプレイヒンジカバー
 - c. パームレスト
 - d. キーボード
 - e. キーボードトリム
 - f. mSATA
 - g. ベースカバー
 - h. バッテリー
 - i. SD カード
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリの取り外し

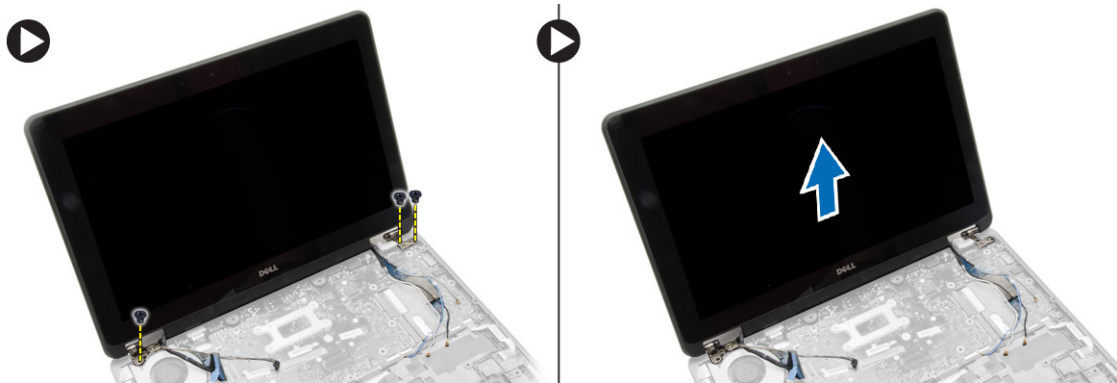
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. SD カード
 - c. ベースカバー
 - d. キーボード
 - e. パームレスト
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
 - a. WLAN ケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - b. WLAN ケーブルの配線をスロットから外します [2]。
 - c. ヒートシンクをコンピュータに固定しているネジを外します。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。アンテナケーブルをワイヤレスソリューションから外します。
- LVDS ケーブルをシステム基板から外します [1]。
 - ケーブルの配線をスロットから外します [2]。
 - ネジを外し、コンピュータにディスプレイアセンブリを固定しているベースシャーシの穴からアンテナケーブルを引き出します。



5. ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定しているネジを外し、ディスプレイアセンブリをコンピュータから持ち上げます。



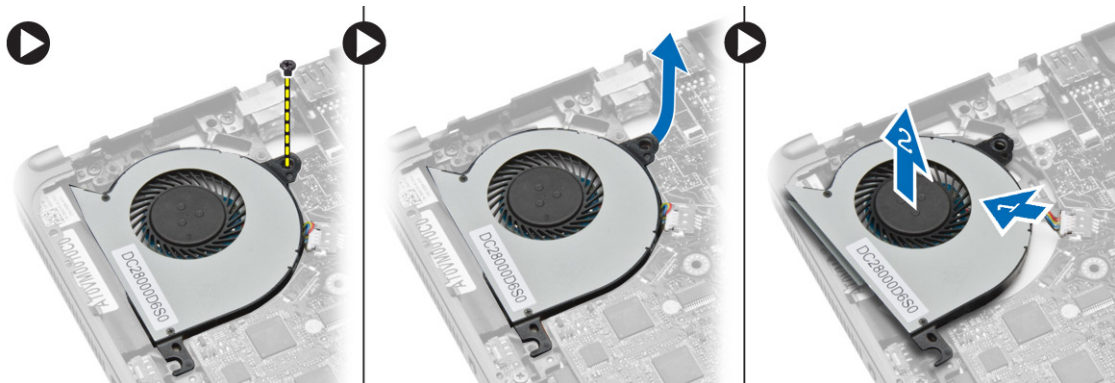
ディスプレイアセンブリの取り付け

- LVDS ケーブルとワイヤレスアンテナケーブルをベースシャーシの穴に通し、接続します。
- ディスプレイアセンブリをコンピュータに載せます。
- ディスプレイアセンブリを固定する両端のネジを締めます。
- ヒートシンクをコンピュータに固定するネジを締めます。
- LVDS ケーブルを配線チャンネルを通して配線し接続します。
- WLAN ケーブルをコンピュータに接続します。
- 次のコンポーネントを取り付けます。

- a. パームレスト
 - b. キーボード
 - c. ベースカバー
 - d. SD カード
 - e. バッテリー
8. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. バッテリー
 - b. SD カード
 - c. ベースカバー
 - d. キーボードトリム
 - e. キーボード
 - f. パームレスト
 - g. ディスプレイヒンジカバー
3. システムファンをコンピューターに固定しているネジを外し、システムファンを持ち上げます。システムファンケーブルを外し、ファンをコンピューターから持ち上げます。



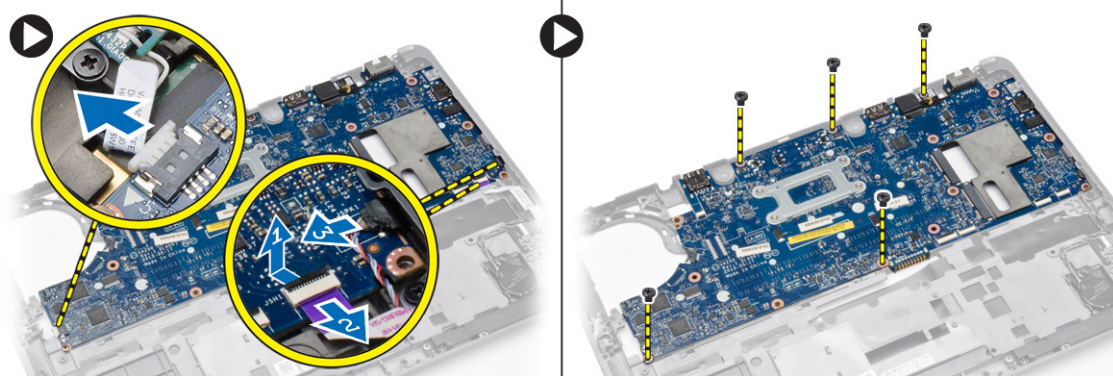
システムファンの取り付け

1. システムファンケーブルをシステム基板に接続します。
2. システムファンをコンピューターに固定するネジを締めます。
3. システムファンをシステム基板の所定に位置に合せます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. ディスプレイヒンジカバー
 - b. パームレスト
 - c. キーボード
 - d. キーボードトリム
 - e. ベースカバー
 - f. SD カード
 - g. バッテリー
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

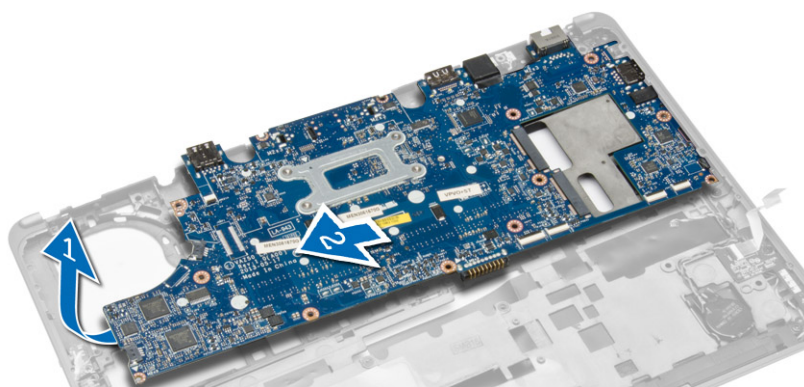
システム基板の取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. mSATA
 - e. キーボードトリム
 - f. キーボード
 - g. パームレスト
 - h. スピーカー
 - i. ディスプレイヒンジカバー
 - j. ディスプレイアセンブリ
 - k. システムファン
 - l. ヒートシンク
 - m. I/O ケーブル
3. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. I/O ラッチを持ち上げます [1]。
 - b. I/O ケーブルをシステム基板から取り出します [2]。
 - c. I/O ケーブルをシステム基板から外します [3]。
 - d. スピーカーケーブルをシステム基板から外します。
 - e. システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します。



4. 図に示すように、以下の手順を行ってください。
- a. システム基板の左端を 45 度に傾けて持ち上げます [1]。
 - b. システム基板をコンピュータから取り外します [2]。



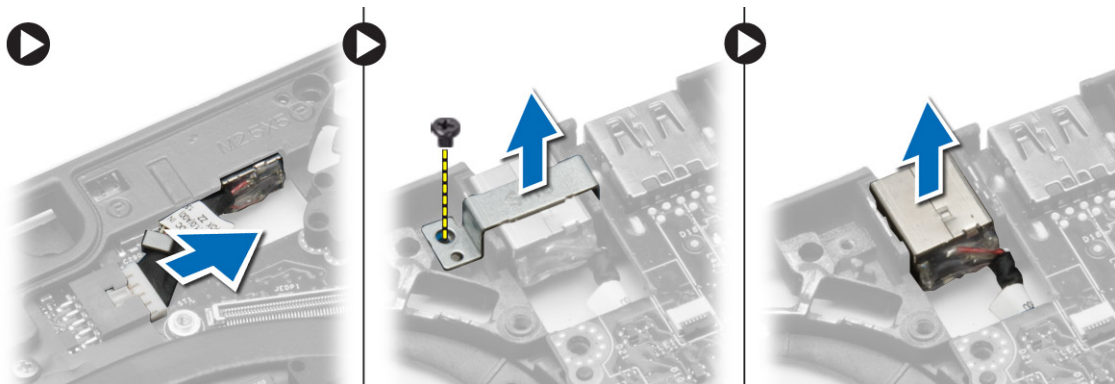
システム基板の取り付け

- 1. システム基板をコンピュータの所定の位置に合せます。
- 2. システム基板を固定するネジを締めます。
- 3. 以下のケーブルをシステム基板に接続します。
 - a. スピーカー
 - b. I/O ケーブル

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システムファン
 - b. ヒートシンク
 - c. ディスプレイアセンブリ
 - d. ディスプレイヒンジカバー
 - e. スピーカー
 - f. パームレスト
 - g. キーボード
 - h. キーボードトリム
 - i. mSATA
 - j. ベースカバー
 - k. バッテリー
 - l. SD カード
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源コネクタの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. SD カード
 - b. バッテリー
 - c. ベースカバー
 - d. キーボード
 - e. パームレスト
 - f. システムファン
3. 電源コネクタケーブルをシステム基板から外し、電源コネクタをコンピュータに固定しているネジを外します。電源コネクタをコンピュータから取り外します。



電源コネクタの取り付け

1. 電源コネクタを所定のスロットに差し込みます。
2. 電源コネクタをシステム基板に接続します。
3. 電源コネクタをシステム基板に固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. システムファン
 - b. パームレスト
 - c. キーボード
 - d. ベースカバー
 - e. バッテリー
 - f. SD カード
5. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドッキングポートの情報

ドッキングポートは、ラップトップをドッキングステーション（オプション）に接続する場合に使用します。



1. ドッキングポート

セットアップユーティリティ

トピック：

- 起動順序
- ナビゲーションキー
- セットアップユーティリティのオプション
- BIOS のアップデート
- システムパスワードおよびセットアップパスワード

起動順序

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス（例：オプティカルドライブまたはハードドライブ）にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です：

- <F2> を押してシステムセットアップにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです：

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 - ① **メモ:** 診断を選択すると [ePSA 診断] 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。

- ① **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 1. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
<Enter>	選択したフィールドに値を入力するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動することができます。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
<Tab>	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。

表 1. ナビゲーションキー (続き)

キー	ナビゲーション
<F1>	セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。

セットアップユーティリティのオプション

① **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに記載されている項目の一部が表示されない場合があります。

表 2. 一般

オプション	説明
[System Information]	<p>このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> System Information (システム情報): BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。 Memory Information (メモリ情報): Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。 Processor Information (プロセッサ情報): Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。 Device Information (デバイス情報): Primary Hard Drive (プライマリハードドライブ)、Fixed bay Device (固定ベイデバイス)、System eSATA Device (システム eSATA デバイス)、Dock eSATA Device (eSATA ドッキングデバイス)、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、Modem Controller (モデムコントローラ)、Wi-Fi Device (Wi-Fi デバイス)、WiGig Device (WiGig デバイス)、Cellular Device (セルラーデバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。
[Battery Information]	バッテリー状態とコンピュータに接続されている AC アダプタのタイプが表示されます。
[Boot Sequence]	<p>コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Diskette Drive (ディスケットドライブ) Internal HDD (内蔵 HDD) USB Storage Device (USB ストレージデバイス) CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ) Onboard NIC (オンボード NIC)
[Advance Boot Option]	<p>このオプションはレガシー起動モードに必要です。このオプションは、安全起動が有効の場合、使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable Legacy Option ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする) — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[Date/Time]	日付と時刻を設定できます。

表 3. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
[Integrated NIC]	<p>内蔵ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 有効

表 3. System Configuration (システム設定) (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • Enabled w/PXE(PXE 付で有効): このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Enable UEFI Network Stack (UEFI ネットワークスタックの有効化): これによって pre-OS および early OS ネットワーク環境で UEFI ネットワークプロトコル有効化が可能になります。
[Parallel Port]	<p>ドッキングステーションの平行ポートの動作を定義および設定することができます。平行ポートは次のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • AT • PS2 • ECP (Latitude 7440)
[Serial Port]	<p>シリアルポートの設定を識別および定義します。シリアルポートは次のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • COM1 (デフォルト設定) • COM2 • COM3 • COM4 <p>①メモ: 設定が無効の場合でも、オペレーティングシステムがリソースを割り当てる場合があります。</p>
[SATA Operation]	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • AHCI • RAID On (RAID オン) (デフォルト設定) <p>①メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。</p>
[Drives]	<p>基板上の SATA ドライブを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA-0 • SATA-1 • SATA-2 • SATA-3 <p>デフォルト設定 : ドライブはすべて有効です。</p>
[SMART Reporting]	<p>このフィールドでは、内蔵ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
[USB Configuration]	<p>USB 設定を定義することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) • Enable USB3.0 Controller (USB3.0 コントローラを有効にする) <p>デフォルト設定 : すべてのオプションが有効に設定されています。</p>
[USB PowerShare]	<p>USB PowerShare 機能の動作を設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB PowerShare (USB PowerShare を有効にする)
[Audio]	<p>統合オーディオコントローラを有効または無効に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Audio (オーディオを有効にする) このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[Keyboard Illumination]	<p>キーボードライト機能の動作モードを選択できます。オプションは次のとおりです。</p>

表 3. System Configuration (システム設定) (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 無効 (デフォルト設定) ● レベル 25% ● レベル 50% ● レベル 75% ● レベル 100%
[Unobtrusive Mode]	<p>システムのすべてのライトと音響放射をオフにするモードを設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Unobtrusive Mode (Unobtrusive Mode を有効にする)
[Miscellaneous Devices]	<p>各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Microphone (マイクを有効にする) ● Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブ落下保護を有効にする) ● Enable Camera (カメラを有効にする) ● Enable Media Card (メディアカードを有効にする) ● Disable Media Card (メディアカードを無効にする) <p>デフォルト設定 : デバイスはすべて有効です。</p>

表 4. ビデオ

オプション	説明
[LCD Brightness]	電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。

表 5. セキュリティ

オプション	説明
[Admin Password]	<p>このフィールドでは、管理者 (admin) パスワード (セットアップパスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。管理者パスワードではいくつかのセキュリティ機能を有効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enter the old password (古いパスワードを入力する) ● Enter the new password (新しいパスワードを入力する) ● Confirm the new password (新しいパスワードを確認する) <p>デフォルト設定 : Not set (設定なし)</p>
[System Password]	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enter the old password (古いパスワードを入力する) ● Enter the new password (新しいパスワードを入力する) ● Confirm the new password (新しいパスワードを確認する) <p>デフォルト設定 : Not set (設定なし)</p>
[Internal HDD-1 Password]	<p>管理者パスワードの設定、変更、または削除を行うことができます。ドライブにはデフォルトで設定されたパスワードはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enter the old password (古いパスワードを入力する) ● Enter the new password (新しいパスワードを入力する) ● Confirm the new password (新しいパスワードを確認する) <p>デフォルト設定 : Not set (設定なし)</p>
[Strong Password]	<p>強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。</p>
[Password Configuration]	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。

表 5. セキュリティ (続き)

オプション	説明
[Password Bypass]	システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 (デフォルト設定) ● Reboot bypass (再起動のスキップ)
[Password Change]	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。 デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する) は選択されていません。
[Non-Admin Setup Changes]	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションへの変更を許可するかどうかを決定できます。このオプションは無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● Allows Wireless Switch Changes (ワイヤレススイッチの変更を許可)
[TPM Security]	POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。 デフォルト設定 : オプションは無効に設定されています。
[Computrace]	オプションである Computrace ソフトウェアを起動または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 起動しない (デフォルト設定) ● 無効 ● Activate (アクティブ化) <p>メモ: Activate (起動) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的に起動または無効にします。その後の変更はできません。</p>
[CPU XD Support]	プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。 デフォルト設定 : Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする)
[OROM Keyboard Access]	起動中にホットキーを使用して Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面にアクセスできるようにするかを設定できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 有効 (デフォルト設定) ● One Time Enable (1 回のみ有効) ● 無効
[Admin Setup Lockout]	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。 デフォルト設定 : Disabled (無効)

表 6. Secure Boot (安全起動)

[Secure Boot Enable]	安全起動機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● 有効 (デフォルト設定) <p>メモ: 有効の場合、システムを UEFI 起動モードにする必要があり、レガシーオプション ROM の電源をオフにすることができますようにします。</p>
[Expert key Management]	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● PK ● KEK ● db ● dbx <p>Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。</p>

表 6. Secure Boot (安全起動) (続き)

	<ul style="list-style-type: none"> ● Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 ● Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 ● Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 ● Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 ● Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 ● Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 <p>メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。</p>
--	--

表 7. パフォーマンス

オプション	説明
[Multi Core Support]	<p>このフィールドでは、プロセスが1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。コアを追加することでアプリケーションのパフォーマンスが向上する場合があります。このオプションはデフォルトでは有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートを有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● すべて (デフォルト設定) ● 1 ● 2
[Intel SpeedStep]	<p>Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)</p>
[C States Control]	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: オプションの C ステートは有効です。</p>
[Intel TurboBoost]	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: Enabled (有効)</p>
[Rapid Start Technology]	<p>Intel ラピッドスタートは、ユーザーが指定した時間が経過したら自動的にスリープ中のシステムを低電源状態にすることで、バッテリーの寿命を延ばす機能です。次のオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Intel Rapid Start Feature (Intel ラピッドスタート機能) ● Transition to Rapid Start when using Timer (タイマーを使用した場合でのラピッドスタートへの移行) <p>ラピッドスタートタイマーの値を設定することで、要求に応じて、システムをラピッド状態にすることができます。</p>

表 8. 電源管理

オプション	説明
[AC Behavior]	<p>AC アダプタが接続されている場合に、コンピューターの電源が自動的に入るように設定できます。このオプションは無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Wake on AC (ウェイクオン AC)
[Auto On Time]	<p>コンピューターが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効 (デフォルト設定) ● Every Day (毎日) ● Weekdays (平日) ● Select Days (選択した日)

表 8. 電源管理 (続き)

オプション	説明
[USB Wake Support]	USB デバイスによって、コンピュータがスタンバイモードから復帰するように設定できます。このオプションは無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)
[Wireless Radio Control]	WLAN および WWAN 無線を制御できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Control WLAN radio (WLAN 無線の制御) ● Control WWAN radio (WWAN 無線の制御) デフォルト設定：両方のオプションが無効に設定されています。
[Wake on LAN/WLAN]	特殊な LAN 信号でトリガーされると、電源オフの状態からコンピュータを起動させることができるオプションです。スタンバイ状態からのウェイクアップはこの設定の影響を受けず、オペレーティングシステムで有効にされている必要があります。この機能は、コンピュータを AC 電源に接続している場合にのみ有効です。 <ul style="list-style-type: none"> ● Disabled (無効) - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 ● LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 ● WLAN Only (WLAN のみ) ● LAN or WLAN (LAN または WLAN) ● LAN with PXE Boot (PXE ブート付き LAN)
[Block Sleep]	コンピュータがスリープ状態になるのを防ぐことができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● Block Sleep (S3) (スリープのブロック (S3))
[Peak Shift]	ピークシフトを使用して、1日のピーク時の AC 消費を最小限に抑えることができます。ピークシフトモードの開始時刻と終了時刻を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Peak Shift (ピークシフトを有効にする) (無効)
[Advanced Battery Charge Configuration]	アドバンスドバッテリー充電モードでシステムのバッテリーの性能を最大限に高めることができます。標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を最大限に高めます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Advanced Battery Charge Mode (アドバンスドバッテリー充電モードを有効にする) (無効)
[Primary Battery Configuration]	AC 電源に接続されている場合に、バッテリー充電の使用方法を定義できます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● Adaptive (適応) ((有効)) ● Standard Charge (標準充電) ● Express Charge (高速充電) ● Primary AC Use (主に AC を使用) ● Custom Charge (カスタム充電) — バッテリー充電時の充電率を設定できます。
[Intel Smart Connect Technology]	このオプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションが有効の場合、システムがスリープ状態で近くのワイヤレス接続を定期的に感知します。これは、システムがスリープ状態になった時に開かれた E メールやソーシャルメディアアプリケーションを同期化します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Smart Connection (スマート接続) (無効)

表 9. POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
[Adapter Warnings]	特定の電源アダプタを使用する場合に、アダプタの警告メッセージが表示されるように設定することができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Adapter Warnings (アダプタの警告を有効にする)
[Keypad (Embedded)]	内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● Fn Key Only (Fn キーのみ) ● By Numlock (Numlock を使用)

表 9. POST Behavior (POST 動作) (続き)

オプション	説明
	<p>メモ: セットアップの起動中は、このオプションの効果はなく、セットアップは、Fn Key Only (Fn キーのみ) モードで作動します。</p>
[Mouse/Touchpad]	<p>コンピュータによるマウスとタッチパッド入力の処理を定義できます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Serial Mouse (シリアルマウス) ● PS2 Mouse (PS2 マウス) ● Touchpad/PS-2 Mouse (タッチパッド /PS-2 マウス)(デフォルト設定)
[Numlock Enable]	<p>コンピュータの起動時に NumLock 機能を有効にするかどうかを指定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Numlock (Numlock を有効にする)
[Fn Key Emulation]	<p>PS-2 キーボードの <Scroll Lock> キー機能と内蔵キーボードの <Fn> キー機能を一致させることができます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする)
[Fastboot]	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Minimal (最小) ● Thorough (完全) ● 自動
[Extended BIOS POST Time]	<p>ブート遅延を追加で作成することができ、ユーザーは POST ステータスメッセージを見ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 0 秒 ● 5 秒 ● 10 秒

表 10. Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization	<p>Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization Technology を有効にする)</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。</p> <p>Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用の仮想化テクノロジーを有効にする) — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Trusted Execution	<p>このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および VT for DirectI/O (直接 I/O 用の仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。</p> <p>Trusted Execution — デフォルトで無効に設定されています。</p>

表 11. Wireless (ワイヤレス)

オプション	説明
[Wireless Switch]	<p>ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを決定できます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WWAN ● WLAN ● Bluetooth ● WiGig <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

表 11. Wireless (ワイヤレス) (続き)

オプション	説明
[Wireless Device Enable]	ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ● WWAN ● Bluetooth ● WLAN/WiGig すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

表 12. メンテナンス

オプション	説明
[Service Tag]	コンピュータのサービスタグを表示します。
[Asset Tag]	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 13. System Logs (システムログ)

オプション	説明
[BIOS events]	システムイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ログのクリア
[Thermal Events]	サーマルイベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ログのクリア
[Power Events]	電源イベントログを表示し、そのログを消去することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ログのクリア

BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、お使いの BIOS (セットアップユーティリティ) のアップデートを推奨しています。ラップトップの場合、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
2. dell.com/support にアクセスします。
3. [サービスタグ] や [エクスプレスサービスコード] を入力し、[Submit (送信)] をクリックします。
 - ① **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag? (サービスタグの検索)** をクリックします。
 - ① **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product (製品の検出)** をクリックします。画面上の説明に進みます。
4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
5. リストから **Product Type (製品のタイプ)** を選択します。
6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
7. **Get drivers (ドライバを取得)** をクリックし、**View All Drivers (すべてのドライバを表示)** をクリックします。Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード) ページが開きます。
8. ドライバおよびダウンロード画面で、[オペレーティングシステム] ドロップダウンリストから [BIOS] を選択します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで [Download File (ファイルのダウンロード)] をクリックします。アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates(アップデートが必要なシステムの分析)** をクリックし、画面上の指示に従います。
10. [ダウンロード方法を以下から選択してください] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[Download File (ファイルのダウンロード)] をクリックします。**ファイルのダウンロードウィンドウ**が表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、[Save (保存)] をクリックします。

12. [Run (実行)] をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。


システムパスワードおよびセットアップパスワード


システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。


パスワードの種類 説明

システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。


 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

[パスワードステータス] が [ロック解除] の場合に限り、新しい [システムパスワード] や [セットアップパスワード] の設定、または既存の [システムパスワード] や [セットアップパスワード] の変更が可能です。パスワードステータスが [ロック] に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

- [システム BIOS] 画面または [システムセットアップ] 画面で、[システムセキュリティ] を選択し、<Enter> を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
- [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
- [System Password] (システムパスワード) を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() \ (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([] (\) (]) (`)プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。
- 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、[OK] をクリックします。
- [セットアップパスワード] を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。
セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。
- 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、[OK] をクリックします。
- <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

システムセットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. [システム BIOS] 画面または [システムセットアップ] 画面で、[システムセキュリティ] を選択し、<Enter> を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
3. [システムパスワード] を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. [セットアップパスワード] を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。

i **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。

5. <Esc> を押すと、変更の保存を要求するメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しシステムセットアップを終了します。
コンピューターが再起動します。

コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

トピック：

- ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断
- デバイスステータスライト
- バッテリーステータスライト

ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断

ePSA 診断 (システム診断としても知られている) ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA には BIOS が組み込まれており、BIOS によって内部的に起動されます。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示





注意: システム診断プログラムは、お使いのコンピュータをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピュータで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

メモ: 特定のデバイスのテストではユーザー操作が必要となる場合があります。診断テストを実行する際には、常にコンピュータ端末の前にいるようにしてください。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動すると、Dell のロゴが表示されるように <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、[診断] オプションを選択します。
[強化された起動前システムアセスメント] ウィンドウが表示され、コンピューター内で検知された全デバイスがリストアップされます。診断が検知された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行する場合、<Esc> を押して [はい] をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、[テストの実行] をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

デバイスステータスライト

表 14. デバイスステータスライト

	コンピューターに電源を入れると点灯し、コンピューターが省電力モードの場合は点滅します。
	コンピューターがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
	点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。
	ワイヤレスネットワークが有効の場合、点灯します。

デバイスのステータス LED は通常、キーボードの上部または左側にあります。ステータス LED は、ストレージ、バッテリー、およびワイヤレスデバイスの接続と動作を示すために使われます。そのほかにも、システムに潜在的な障害がある場合の診断ツールとしても役立ちます。

以下の表は、潜在的なエラーが生じた場合の LED コードの判読方法を示したものです。

表 15. LED ライト

ストレージ LED	電源 LED	ワイヤレス LED	障害の説明
点滅	点灯	点灯	プロセッサに障害が発生しています。
点灯	点滅	点灯	メモリモジュールが検出されましたが、エラーが発生しました。
点滅	点滅	点滅	システム基板に障害が発生しました。
点滅	点滅	点灯	グラフィックスカード、またはビデオに障害が発生しました。
点滅	点滅	オフ	ハードドライブを初期化するときにシステムに障害が発生したか、オプション ROM 初期化中に障害が発生しました。
点滅	オフ	点滅	USB コントローラの初期化中に問題が発生しました。
点灯	点滅	点滅	メモリモジュールが取り付けられていないか、検出されません。
点滅	点灯	点滅	初期化中、ディスプレイに問題が発生しました。
オフ	点滅	点滅	モデムの干渉により、システムの POST が完了できません。
オフ	点滅	オフ	メモリの初期化に失敗したか、メモリがサポートされていません。

バッテリーステータスライト

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

黄色と白色が交互に点滅	認定されていない、またはサポートされていないデル以外の AC アダプターがラップトップに接続されている。
黄色が短く、白色が長く交互に点滅	AC アダプターに接続されており、一時的なバッテリーの不具合が発生した。
黄色が連続的に点滅	AC アダプターに接続されており、致命的なバッテリーの不具合が発生した。
消灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっている。
白色点灯	AC アダプターに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

仕様

メモ: 提供される内容は地域により異なる場合があります。以下の仕様は、コンピュータに同梱で出荷することが法律により定められている項目のみ示しています。コンピュータの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピュータに関する情報を表示するオプションを選択してください。

表 16. システム情報

特長	仕様
チップセット	Lynx Point-LP [(Latitude 7240)] インテル QM87 Express チップセット [(Latitude 7440)]
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 32 メガビット、64 メガビット
PCIe バス	100 MHz
外付けバスの周波数	DMI (5GT/秒)

表 17. プロセッサー

特長	仕様
タイプ	インテル Core i3/i5/i7 シリーズ
L3 キャッシュ	3 MB、4 MB、6 MB、および 8 MB

表 18. メモリー

特長	仕様
メモリコネクタ	SODIMM スロット (2)
メモリ容量	2 GB、4 GB、または 8 GB
メモリーのタイプ	DDR3L SDRAM (1600 MHz)
最小メモリー	2 GB
最大メモリー	16 GB

表 19. オーディオ

特長	仕様
タイプ	4 チャンネルハイデフィニションオーディオ
コントローラー	Realtek ALC3226
ステレオ変換	24 ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インターフェイス :	
内蔵	ハイデフィニションオーディオ
外部	マイクروفोन入力、ステレオヘッドホン、およびヘッドセットコンボコネクタ
スピーカー	2
アンプ内蔵スピーカー	1 W (RMS) /チャンネル
ボリュームコントロール	ホットキー

表 20. ビデオ

特長	仕様
タイプ	システム ボードに統合
コントローラ :	
UMA	インテル HD グラフィックス 4400
専用	AMD Radeon HD 8690M グラフィックス
データバス	PCI-E Gen3 x 8
外部ディスプレイ対応	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI (1)  メモ: ドッキングステーションで DP/DVI ポートを 2 つサポートします。

表 21. カメラ

機能	仕様
カメラ解像度	1280x720 ピクセル
ビデオ解像度 (最大)	1280x720 ピクセル
対角視野角	74°

表 22. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプター	10/100/1000 Mb/s Ethernet (RJ-45)
ワイヤレス	内蔵 WLAN (ワイヤレス ローカル エリアネットワーク) および WWAN (ワイヤレス ワイド エリア ネットワーク) <ul style="list-style-type: none"> ● Bluetooth 4.0

表 23. ポートとコネクタ

機能	仕様
オーディオ	マイクロフォン/ステレオ ヘッドホン/スピーカー コネクター x 1
ビデオ	ミニ DisplayPort コネクタ
ネットワークアダプター	RJ-45 コネクタ
USB 3.0	USB 3.0 対応コネクタ (2)
メモリーカードリーダー	SD4.0 までサポート
マイクロサブスクリバ識別モジュール (uSIM) カード	1 個
ドッキングポート	1 個

表 24. ディスプレイ

特長	仕様	
	[Latitude 7240]	[Latitude 7440]
タイプ	HD 非光沢	HD 非光沢
寸法 :		
高さ	180.0 mm (7.08 インチ)	205.6 mm (8.09 インチ)
幅	300.90 mm (11.84 インチ)	320.9 mm (12.63 インチ)
対角線	3.6 mm (0.14 インチ)	3.6 mm (0.14 インチ)
最大解像度	1366 x 768	1366 x 768
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz

表 24. ディスプレイ (続き)

特長	仕様	
	[Latitude 7240]	[Latitude 7440]
最小可視角度 :		
水平方向	± 40°	± 40°
垂直方向	+15°/-30°	+15°/-30°
ピクセルピッチ	1.05	1.05

表 25. キーボード

特長	仕様
キーの数	米国 : 86 キー、イギリス : 87 キー、ブラジル : 87 キー、日本 : 90 キー

表 26. タッチパッド

特長	仕様	
	[Latitude 7240]	[Latitude 7440]
動作領域 :		
X 軸	98.8 mm	100 mm
Y 軸	60.8 mm	47 mm

表 27. バッテリー

特長	仕様	
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 3セル「スマート」リチウムイオン ● 4セル「スマート」リチウムイオン 	
寸法 :	[Latitude 7240]	[Latitude 7440]
3セル / 4セル		
奥行き	80.75 mm (3.18 インチ)	74.75 mm (2.94 インチ)
高さ	7.20 mm (0.28 インチ)	8.00 mm (0.31 インチ)
幅	282.00 mm (11.10 インチ)	308.50 mm (12.15 インチ)
重量:		
3セル	250.00 g (0.55 ポンド)	247.00 g (0.54 ポンド)
4セル	300.00 g (0.66 ポンド)	308.00 g (0.68 ポンド)
電圧		
3セル	11.10 VDC	
4セル	7.40 VDC	
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)	
温度範囲 :		
動作時	充電 : 0 °C ~ 50 °C (32 °F ~ 158 °F) 放電 : 0 °C ~ 70 °C (32 °F ~ 122 °F)	
非動作時	- 20 °C ~ 65 °C (4 °F ~ 149 °F)	
コイン型電池	3 V CR2032 リチウムコイン型セル	

表 28. AC アダプター

特長	仕様
タイプ	65 W および 90 W
入力電圧	AC 100 ~ 240 V
入力電流 (最大)	1.50 A
入力周波数	50 Hz ~ 60 Hz
出力電力	65 W
出力電流	3.34 A (連続稼働時)
定格出力電圧	DC19.5 V
重量	0.23 kg (0.51 ポンド)
寸法	22 x 66 x 106 mm (0.87 x 2.60 x 4.17)
温度範囲:	
動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非動作時	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

表 29. 仕様

特長	[Latitude 7240]	[Latitude 7440]
高さ	20.0mm (0.79 インチ)	21.0 mm (0.80 インチ)
幅	310.5 mm (12.22 インチ)	337 mm (13.2 インチ)
奥行き	211.0mm (8.3 インチ)	231.5mm (9.1 インチ)
重量 (3 セルバッテリー装着の場合)	1.36 kg (2.99 ポンド)	1.63 kg (3.6 ポンド)

表 30. 環境

特長	仕様
温度:	
動作時	0°C ~ 60°C (32 °F ~ 140 °F)
ストレージ	-51 °C ~ 71 °C (59 °F ~ 159 °F)
相対湿度 (最大):	
動作時	10% ~ 90% (結露しないこと)
ストレージ	5% ~ 95% (結露しないこと)
高度 (最大):	
動作時	-15.2 m ~ 30482000 m (-50 ~ 10,0006560 フィート) 0 °C ~ 35 °C
非動作時	-15.24 m ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空気汚染物質レベル	G2 またはそれ未満 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

デルへのお問い合わせ

メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

Dell.com/contactdell にアクセスします。